



令和4年6月14日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第12号

日曜参観を行いました ～多くの皆様のご来校，ありがとうございました～

6月12日（日）3・4校時，保護者の皆様や学校評議員，学校関係者評価委員の皆様にご来校いただきました。保護者の皆様には，PTA総会の時の授業参観や小中合同運動会などの機会にご来校いただいておりますが，学校評議員や学校関係者評価委員など地域の皆様に生徒の様子を見ていただくことは本当に久しぶりでした。

多くの方々にご来校いただき，生徒の皆さんも教職員も少し緊張したと思います。しかしながら，学校の雰囲気を感じていただき，学校の取組や生徒の様子などを実際に見ていただくことは大切なことだと思っています。

3校時は通常の授業でしたが，4校時は生徒・保護者・教職員の三者による話し合いの場をもたせていただくなど新しい企画を実施することができました。アイスブレイクによって緊張がほぐれた後，校則の見直しやSNSについてご意見をいただきました。校則の見直しについては，6月17日（金）の生徒総会に向けて準備を進めておりますが，時代の変化に応じながら，改善すべき点は改め，重要な点はしっかり確認していくことを大切にしていきたいと思います。また，SNSにつきましては，スマホなどはご家庭で使用するようになりますので，ご家庭で決められたルールを遵守することをお願いいたします。



第1回小中合同学校関係者評価委員会

6月12日(日)、第1回小中合同学校関係者評価委員会を行いました。中学校からは、学校評議員 西村 宣枝 様、菅原 章治 様、学校関係者評価委員 藤井 整志 様、PTA会長 竹内 清志 様にご来校いただきました。まず、学校から今年度の目標や方策、指標について説明し、その後、授業参観の感想をいただきました。4校時の生徒・教員・保護者の交流については面白い取組と評価していただくとともに、生徒の皆さんがタブレットを使っている姿には感心されていました。そして、学校や生徒のためには、地域として協力は惜しまないと大変心強いお言葉をいただき、本当にうれしく思いました。

なお、次の表は自己評価表は一部抜粋していますので、詳しくは学校ホームページをご覧ください。

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値
***	学んだことを実際の社会や生活で生きて働かせ、未知の状況にも対応できる児童生徒の育成	知識・技能の 確実な定着 ★身に付けた学習内容(知識・技能)を他の学習や生活の場面で活用できる生徒の育成	○授業において、理由や根拠を挙げながら説明する機会を多く設ける。	・生徒アンケートで、自分の考えに理由を付ける等、相手に分かりやすく伝えようとしている割合	90%
			○家庭の協力のもと、宿題をやりきらせるとともに、予習・復習の習慣を付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図る。	・生徒アンケートで、家庭学習(宿題・予習・復習)習慣が身に付いたと感じている割合	90%
			○授業や部活動において、週5日以上自己に合った体づくりに取り組む。 ○部活動の始まりに、体力強化メニューを短時間で実施する(ラダー、縄跳び等)。	・生徒アンケートで、体力向上に努めている割合 自校の課題項目(3種目×6=18項目)中、全国平均以上の項目の割合	90% 60%
			○学校朝会などによる発表の場の設定と自分の考えを説明する場を大切に授業を推進する。	・生徒アンケートで、「相手に分かりやすく表現した」と答えた割合	80%
			○「教えて考えさせる授業」において「学び合い」を仕組み、「主体的・対話的で深い学び」を目指す。	・期末試験(1・2学期の5教科)における「思考・判断・表現」の問題の正答率	60%
	思考力・判断力・表現力の育成 ★知識及び技能を活用して、課題解決や未来を拓く行動ができる生徒の育成	○各教科等におけるICT機器を活用した教育を充実する。	・教員アンケートで、授業支援アプリのシンキングツールなどを日常的に授業で活用している割合	100%	
**	郷土を愛し、協働して貢献し、学んだことを人生や社会に生かそうとする児童生徒の育成	自己肯定感の育成 自己の生き方を考える力の育成 ★夢の実現に向けて自己の生き方を考え、よりよく生きるための行動ができる生徒の育成	○異校種・異学年交流を充実させる。	・生徒アンケートで、「自分にはよいところがある」「自分は人の役に立っている」と答えた割合	90%
			○夢の実現に向けて自己の生き方を考えさせ、自分の考えを発表し交流する取組を充実させる。	・学活などで「自己表現」の場を学期1回または年間3回以上	100%
			○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら「未来を拓く100のであい」を通して、自己の生き方を考えさせる。	・生徒アンケートで、自分の生き方について考えることができている割合	90%
			○「ふるさと学習」を充実させ、地域貢献のために自分達にできることを考え行動しようとする態度を育成する。	・生徒アンケートで、地域のために自分にできることを考え行動しようとしている割合	100%
	協働的に関わる力の育成 ★郷土や仲間を愛し、相手の気持ちを尊重して協働し、積極的に貢献できる生徒の育成	○行事等、仲間と協働することで役割を果たし達成感が得られる体験を充実させる。	・生徒アンケートで、自己の役割を果たすことができている割合	100%	
*	教職員の意欲と能力を發揮できる教育環境づくり	生徒と向き合う時間の確保 ★スクラップアンドビルドによる教育活動の質的向上	○スクラップアンドビルドを推進するとともに、各種教育活動や働き方改革に資するアイデアを全教職員から募集・実践し、全教職員のモチベーション向上を図る。	・教員アンケートで、生徒と向き合う時間が確保されていると感じる割合	80%